

畜産ネットワーク ちば

2016年1月15日
第35号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭のご挨拶



公益社団法人
千葉県畜産協会
会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当畜産協会の各種事業の推進につきまして、深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、ラグビーW杯における日本代表の活躍、日本人のノーベル賞ダブル受賞等、大変うれしいニュースもありましたが、豪雨による自然災害やイスラム国によるテロ事件等の多くの事件、事故も発生し、心を痛める年でもありました。

畜産に目を向けますと、内外情勢の変化等による、飼料費を含む生産資材の高騰、労働力・後継者問題、家畜衛生対策、TPP問題等、畜産経営を取り巻く経営環境は、以前として厳しい状況にありました。

このような状況にあって当畜産協会は畜産経営安定

対策、県産畜産物の消費拡大の推進、生産性の向上並びに飼養衛生管理の向上等の事業を推進し、畜産経営の安定に努めてまいりました。

特に、畜産にとって影響の大きいTPP交渉につきましては、昨年10月に日米など12か国で大筋合意がなされ、今後、発効された場合、関税の段階的引き下げによる価格の低迷等、畜産への影響はさまざま出てくると思われます。これら影響に対し、国ではTPP関連対策として、攻めの農林水産業への転換、経営安定・安定供給のための措置等の施策を展開し、総合的に実施することとしております。

当畜産協会といたしましても、これら施策に積極的に取り組み、持続可能で活力のある千葉県畜産を構築するため、県民・消費者と生産者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、畜産の収益力強化のための各種事業の推進並びに安全で信頼される県産畜産物が安定的に供給されますよう、これまで以上に取り組んでまいり所存でございます。

今後とも、様々な場面で皆様方のお役に立てますよう、役職員一同心掛けてまいり所存でございますので、ご理解・ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成28年が皆様方にとりまして、輝かしく夢と希望を抱かせる飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

目次

- 【1】年頭のご挨拶
- 【2】新規系統豚「ボウソウL4」完成
- 【3】高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、11月に防疫演習等を開催
- 【4】第53回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ
- 【7】富里市 堀江ファーム 最優秀賞受賞！！
平成27年度エコフィード研修会の開催
- 【8】畜産関係施設リースのご案内
- 【10】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信
- 【11】平成27年度「農林水産就業相談会」開かれる
- 【12】チバザビーフ協議会報
- 【14】2015年（第9回）千葉県畜産フェア開催
ちば畜産レディースネットワーク会報
- 【15】肉用牛損害賠償請求
平成27年度千葉県肉豚共進会
- 【16】NPC通信
- 【19】肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業
肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業
- 【20】牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

新規系統豚「ボウソウル4」完成

畜産総合研究センターにおいて、平成20年度に着手したランドレース種の系統造成が完了し、このたび「ボウソウル4」として（一社）日本養豚協会から系統豚の認定を受けました。

基礎豚は国内と米国から繁殖性能が高い系統を導入し、繁殖性と発育性に重点を置いた改良に取り組みました。各改良形質ともに良好な成績が得られており（表1）、特徴をまとめると下記のとおりです。

写真：ボウソウル4



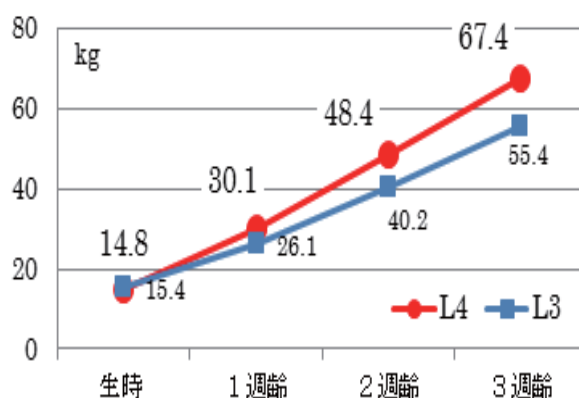
【系統豚「ボウソウル4」の特徴】

- 繁殖能力が良好で、特に3週齢時一腹総体重が優れている
- 発育が早い
- 飼料要求率が良好
- 肢蹄の強健性に優れている
- ふけ肉遺伝子を100%除去

表1. ボウソウル4の成績

生存産子数		10.4頭
3週時1腹総体重		67.4kg
1日平均増体量（30～90kg）	雄	1,011g
	雌	932g
飼料要求率（60～90kg）	雄	2.82
後肢内外蹄比率		80%以上
ふけ肉に関与する遺伝子の除去		100%完了

図1：一腹総体重の推移（ボウソウル4とL3）



特に3週齢一腹総体重は、「ボウソウル3」に比べると12kgも上回っています（図1）。

写真は分娩前の「ボウソウル4」ですが、乳房の発達が良い、グラフからもわかるように1週齢から一腹総体重に差が認められます。3週齢時には、1頭当たり約7kgと大きく育ち、スムーズな離乳が可能で、その後の発育も「ボウソウル3」より優れていることがわかっています。また、肢蹄の強健性の改良にも取り組み、供用年数の長い丈夫な豚に育つことが期待できます。

畜産総合研究センターからの配布開始は平成28年9月頃を予定しています。今後、「ボウソウル4」が県内の肉豚生産母豚の基礎豚として広く利用され、県内養豚農家の生産性向上の一助となるよう普及に努めてまいりますので、皆様の積極的な利用をよろしくお願いします。

お問い合わせは…

- ◆千葉県畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447
- ◆千葉県農林水産部畜産課 生産振興班 TEL:043-223-2939 FAX:043-222-3098

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

森久保薬品株式会社
<http://www.morikubo.co.jp>



高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、11月に防疫演習等を開催

高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPA I）は、平成26年12月に山口県、宮崎県で、平成27年1月には岡山県、佐賀県においても発生が見られ、また、中国、台湾、韓国等の近隣諸国では継続的に発生が認められており、わが国への本病の侵入リスクは高まっております。

そこで、冬場の流行シーズンを迎えるにあたり、県内生産者にも参加していただき、HPA I発生時の防疫対応について防疫演習を2回開催するとともに、養鶏研修会を下記のとおり開催しました。（専務理事 鈴木）

【HPA I 地域防疫演習（机上）】

- (1) 演習日時及び場所：11月6日（金）午後1時30分～ 成田エクセルホテル東急（成田市）
- (2) 参加者：県関係機関、市町村等41名、うち生産者等参加者20名
- (3) 講習内容（HPA I 机上演習）：

HPA I が自農場や周辺地域で発生した際の防疫対応について、北部家畜保健衛生所の末政主任技師から説明をいただき、本病発生時の迅速な防疫対応がいかに重要かを理解していただいた。

【HPA I 県域防疫演習（実地）】



- (1) 演習日時及び場所：11月17日（火）午前9時30分～ 東金中央公民館（東金市）、林ふ卵場跡地（東金市）
- (2) 参加者：県関係機関、市町村、畜産関係団体等224名、うち生産者等参加者8名
- (3) 演習内容：
 - ① 集合・防疫作業（殺処分・消毒）・解散の実地演習
 - ② リーダーの育成、演習農場における防疫作業計画内容の説明
生産者については見学班となり、サブステーションにおいてHPA I の感染防止、防疫計画、防護服の着脱デモ等の説明を受け、その後、演習会場に移動し、殺処分、消毒等の実地演習の説明を受け、本病発生時の防疫対応について理解していただいた。

【養鶏研修会】

毎年恒例の養鶏研修会が11月26日（木）、千葉市生涯学習センターにおいて養鶏生産者等89名が出席し開催しました。

研修講演は2題で「鳥インフルエンザの疫学と防疫」と題して、農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域長の筒井俊之先生から講演を頂くとともに、「米国における鳥インフルエンザの発生状況」と題して、日本レイヤー株式会社代表取締役 橋本亘先生から講演を頂きました。

両先生からは、鳥インフルエンザの疫学面からみた侵入防止対策等本病の防疫に役立つお話を頂き、有意義な研修会となりました。



(筒井先生の講演)



(橋本先生の講演)



(会場内)

第53回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術推進会議畜産部会主催の試験研究成果発表会が開催されます。
参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記のとおりです。
お問い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げます。（畜産総合研究センター）

< 酪農・肉牛部門 >

日 時：平成28年2月5日（金）10時～14時05分
場 所：さんぶの森文化ホール（さんぶの森公園内）
山武市埴谷1904-5（TEL：0475-80-9700）



トウモロコシ単播栽培における収量制限要因と安定生産技術 （畜産総合研究センター 企画環境研究室 青木大輔）



トウモロコシ収量が低下する要因を明らかにするため、千葉、東葛飾、香取、山武、安房、君津管内の41圃場を調査したところ、播種時期と栽植密度が主要因であると判明した。

←Q. 上下どちらの圃場の収量が多いでしょうか？
答えは会場で！！



トウモロコシ・ソルガム混播栽培における収量制限要因と安定生産技術 （畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 行川貴浩）

県内のトウモロコシ・ソルガム混播栽培46圃場の調査で収量低減の主要因は播種時期と栽植密度の設定にあることが判明した。収量低下の発生および対策の事例を紹介する。

上：生育調査風景、下：調査圃場（8月、一番草収穫前）→



口交雑種去勢肥育における粗SGS給与の影響 （畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 諸岡佳恵）

交雑種去勢肥育牛に粗SGSで配合飼料の20%または40%を置き換えて、14.0カ月齢から出荷まで給与しても、飼料摂取量、発育、枝肉成績、枝肉単価に影響はなかった。

40%SGS区のロース肉→



口千葉県内における粗飼料生産組織の活動状況と経営改善計画の検討 （畜産総合研究センター 企画環境研究室 杉本清美）

県内のコントラクターなど粗飼料生産組織の活動状況や経営状況を紹介し、損益分岐点売上高を達成できない赤字経営の改善方向を提案する。

口乾乳後期の飼料給与の違いが分娩後の乳牛に及ぼす影響 （畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 川嶋賢二）

乾乳後期に配合飼料を増給すると分娩後の初回排卵の早期化や泌乳持続性の向上が期待できる。また、中鎖脂肪酸カルシウムの給与は栄養代謝を異化に向け乳量が高まる。

乾乳期用TMRを摂取する乾乳牛→



口周産期牛へのラクトフェリン給与がルーメンの健全性に及ぼす影響 （畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 山口倫子）

分娩後に濃厚飼料多給条件で飼養した乳牛へのラクトフェリン給与は、生産性には大きく影響しないが、繁殖などに悪影響のあるエンドトキシン活性を抑制する傾向を示した。

配合飼料の割合が高いTMRを摂取する試験牛→



口乳用牛の経膈採卵（OPU）における前処置方法
 （畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 清水貴文）

効率的な牛胚生産技術の確立を目的として、経膈採卵一体外受精（OPU-IVF）の試験を実施している。

今回は、ホルモンによる前処置を施したOPUの試験について紹介する。



↑ OPUに用いる装置と採取した卵子

※引き続き同会場にて千葉県・千葉県農業再生協議会主催の「飼料増産に関する情報交換会」が開催されます。

< 養豚部門 >

日 時：平成28年2月17日（水）10時20分～12時
 場 所：印旛合同庁舎2階大会議室（印旛農業事務所隣）
 佐倉市鍋木仲田町8-1（TEL：043-483-1128）

※駐車場に限りがありますので、電車を利用するかお車の場合は乗り合わせての来場をお願いします。



口ランドレース種の系統造成試験（第6世代）
 （畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 松本千明）

H20年度よりボウソウL3の後継豚として、繁殖性、産肉性が高く肢蹄の強健な種豚の改良に着手した。今年度は第6世代豚を生産し、系統造成が完了した。

子豚の発育に優れる新系統豚（左：生時、右：3週齢時）→



口系統豚の組合せ検定試験（第3報）
 （畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 高橋圭二）

繁殖性、発育性に優れたランドレース種の系統豚を造成しており、その能力を活かすことのできる大ヨークシャー種及びデュロック種について組合せ検定を実施した。



↑ 組合せ試験に使った大ヨークシャー（W）種
 （左：豊橋飼(株)W、右：家畜改良センター茨城牧場産W種）

↑ 組合せに使ったデュロック（D）種
 （左：ユメサクラ、右：ゼンノーD-02）

口子宮内部注入法の精子注入量の検討と凍結精液への応用
 （畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 細野真司）

内筒付きカテーテルを用いた子宮内部注入法による豚の人工授精には、運動精子数が20億であることが望ましい。これは凍結精液にも応用できる。

口養豚排水の脱色および窒素低減化処理システムの検証
 （畜産総合研究センター 企画環境研究室 長谷川輝明）



非晶質ケイ酸カルシウム水和物（CSH）処理と硫黄脱窒処理を組み合わせることで、養豚浄化処理水の高度処理（脱色、リン除去・回収、消毒、脱窒）の可能性について検証した。

← 高度処理プラントの概要

※引き続き同会場にて千葉県畜産協会主催の「千葉県養豚大会」が開催されます。

（→次頁に続く）

＜ 養鶏部門 ＞

日 時：平成28年2月19日（金）10時30分～13時30分

場 所：成田国際文化会館 小ホール

成田市土屋303（TEL：0476-23-1331）



□ 2割程度の粃を配合した飼料給与がブロイラーの発育に与える影響 （畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 吉敷笑友子）



ブロイラー用飼料のトウモロコシを2割程度の粃米（9日齢までは粉碎粃、以降は丸粒粃）で代替すると、発育成績は良好となり正肉率に悪影響はない。

←粃を採食する幼雛

□ マカ粕の養鶏飼料への応用

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 岡田浩子）



機能性成分および抗酸化物質を多く有するマカの搾り粕であるマカ粕を、1%、0.5%、0.1%の割合で市販採卵鶏用飼料に上乘せして採卵鶏へ給与し、産卵成績、卵質成績等を調査した。

←左：採卵鶏試験風景、右：供試したマカ粕

□ 3種類の酵素剤が採卵鶏飼料の利用効率に及ぼす効果

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉）

低栄養飼料に3種類の酵素剤を組み合わせ、添加したものを産卵鶏に給与し、産卵成績、卵質成績、飼料費の削減効果等について調査した。

左：採卵鶏試験風景、右：添加した3種類の酵素剤→



□ 飼料中の粗蛋白質、エネルギー含量が暑熱環境下の肥育後期ブロイラーの発育に及ぼす影響

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉）

暑熱環境下の肥育後期ブロイラーに、粗蛋白含量およびエネルギー含量の異なる飼料を給与したところ、粗蛋白含量を高めた飼料の増体量が大きく、飼料費も低く抑えられた。

暑熱環境下でのブロイラー試験風景→



□ 採卵鶏主要銘柄経済性能比較調査

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 吉敷笑友子）



今年度はボリスブラウン、マース、ノボブラウン、ジュリア、ジュリアライト、ジュピター、バブコック、デカルブTXの8銘柄について育成成績、産卵成績等を調査した。

←左：白玉卵産出鶏、右：赤玉卵産出鶏

※引き続き同会場にて鶏病研究会千葉県支部主催の「技術研修会」が開催されます。

お問い合わせ先

千葉県畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ16-1 電話：043-445-4511 FAX：043-445-5447

<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>

富里市 堀江ファーム 最優秀賞受賞！！

～平成27年度 エコフィードを活用した畜産物生産の優良事例表彰～

平成27年11月13日（金）東京都千代田区神田「エッサム本社ビル」において、公益社団法人中央畜産会主催の本年度が第1回目となるエコフィードを活用した畜産物生産の優良事例発表及び表彰式が開催されました。

この発表会は、これまで確立した食品残さ等の飼料化技術等を活用し、特色ある畜産物を生産する先進的な事例を調査し、波及性の高い優良事例の選定を行うとともに事例発表・表彰式を開催し、エコフィードの生産、利用の拡大普及に資することを趣旨として開催されました。



復活した千葉ヨーク（中ヨーク）

千葉県からは公益社団法人千葉県畜産協会が推薦した富里市の「堀江ファーム」代表 堀江光洋さんが、「エコでよみがえる伝説の豚肉」（千葉ヨーク）と題し事例発表を行い、審査委員長からエコフィードの利用拡大が広がる可能性を示したとの講評をいただき、みごと最優秀賞を受賞されました。



全国から16事例の推薦があり、最終候補として次の4事例が選定され、当日事例発表が行われ、各賞が決定いたしました。（総務課 武田）

【最優秀賞】堀江ファーム（千葉県富里市）

【優秀賞】株式会社松永牧場（島根県益田市）

株式会社日本フードエコロジーセンター（神奈川県相模原市）

【特別賞】有限会社関紀産業（大阪府泉佐野市）

↑受賞者（左より）関紀産業 川上氏、松永牧場 松永氏、堀江ファーム 堀江氏、日本フードエコロジー 高橋氏



平成27年度エコフィード研修会の開催

～平成27年度千葉県エコフィード・TMRコーディネート推進事業～

エコフィードの利用推進については、食品関連事業者、エコフィード製造事業者、TMRセンター、畜産農家がそれぞれの立場で課題を抱えており、これら課題解決を図ることが重要となっています。

つきましては、エコフィードの利用に関する課題解決を図り、エコフィードの普及啓蒙と利用拡大を進めるため下記により研修会を開催いたしますので、関係各位のご参加をお待ちしております。（総務課 武田）



1. 日時 平成28年1月28日（木）13：30～
2. 場所 旭市「ヒューマンプラザ黄鶴」
（旭市鎌数9229-1 電話0479-63-0007）
3. 演題 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 永西 修（エッサム）先生
「食品廃棄物の動向と飼料化に向けた課題」（仮題）
4. 事例紹介 堀江ファーム 代表 堀江光洋 氏「エコでよみがえる伝説の豚肉」（仮称）
（中央畜産会主催 平成27年度エコフィードを活用した畜産物生産の優良事例 最優秀事例）
5. 情報提供 情報提供等
6. 参集範囲 酪農・肉用牛・養豚生産者及び関係機関・団体等

畜産関係施設リースのご案内

(公財) 畜産近代化リース協会のリース事業の特徴・仕組み

◎ 経営資金が有効に使えます

機械の導入時に多額の購入資金を必要としないので、資金を有効に生かすことができます。

◎ 導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価額も業者と交渉して決めていただきます。

◎ リース物件は、リース期間終了後は自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の100分の10の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

◎ リース期間中は、偶発的事故の損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険（動産総合保険）に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

◎ 農家には農業協同組合等を通じてリースされます

リース物件は、農家を選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合等にリースします。農家は、この農業協同組合等から再リースされます。

◎ 特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも協会の理事長が特に必要として認めたときは、特認でリースすることができます。本措置を利用して、ふれあい牧場等のアイスcream・チーズ製造用機械、動物用ケージ、ベンチ、簡易牧柵などもリース可能です。詳しくは、当協会にご相談ください。

◎ リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

◎ 中古機械もリースします

草地造成や自給飼料生産用の機械施設で一定の基準を満たすものは、中古機械もリースの対象となります。

◎ 信用保険にも加入（任意）できます

当協会から畜産機械施設のリースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う保険制度です。

(概要)

- 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長9年間です（ただし、加入時において赤字経営の方は対象からはずれます。）。
- 保険料はリース料残高（残債）の0.5%です。保険金の上限を2,000万円としていることから、1年間の保険料は最大で約100,000円となります。
- 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。ただし、複数の機械が対象になっても、保険金の上限は2,000万円です。

◎ 随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料等の支払い事例

● 畜産関係施設

- ・リース物件：ブロードキャスター
- ・リース期間：6年
- ・取得した価額：1,080,000円（取得価額1,000,000円、消費税80,000円）
- ・借受者：畜産農家
- ・リース開始日：4月1日

【支払回別の支払額】

(単位：円)

年度別	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		合計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
リース料	取得価額分	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	900,000
	消費税	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	72,000
	附加貸付料 (利息：残債の1%)	5,000	4,625	4,250	3,875	3,500	3,125	2,750	2,375	2,000	1,625	1,250	35,250
譲渡価格	取得価額分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100,000
	消費税	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,000
動産総合保険料	10,550	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10,550
信用保険料（任意）	2,499	2,312	2,124	1,937	1,749	1,562	1,374	1,187	999	812	624	437	17,616
支払額（信用保険未加入）	96,550	85,625	85,250	84,875	84,500	84,125	83,750	83,375	83,000	82,625	82,250	189,875	1,125,800
支払額（信用保険加入）	99,049	87,937	87,374	86,812	86,249	85,687	85,124	84,562	83,999	83,437	82,874	190,312	1,143,416

注1: 貸付料等の支払いは、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注4: このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注2: 動産総合保険料は、機械の種類等によって若干異なります。

注5: 中古畜産機械のリース料についても、上表に準じて計算されます。

注3: 信用保険の加入は、借受者の任意です。

また、動産総合 保険の対象にもなります。

主なリース機械施設、リース期間等

区分	施設名	主要なリース機械施設(注:リース期間は6年、ただし△印は5年) ※下表に無い機械施設でも畜産用であればリースが可能ですので、下記まで お問い合わせ願います。
飼料生産利用施設	草地造成用機械施設	ブルドーザー、トラクター、ショベルローダー、ストーンクラッシャー、バックホー、プラウ、ライムソウ、ブロードキャスター、ブームスプレーヤー、ローターペーター、ロータリー、連絡用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
	自給飼料生産利用機械施設	トラクター、ロータリー、コーンハーベスター、モアコンディショナー、ピックアップ、テッダー類、ブロードキャスター、フォレンジハーベスター、ホイルローダー、マニヤワゴン等ワゴン類、自動給餌機、飼料攪拌機、播種機、レーキ類、ディスクモア一等モア類、マニヤスプレッダー、バキュームカー、ラッピングマシン、フロントローダー、カッター、ロールペーラー、ミクストロン、ロールカッター、ヘイペーラー、FRPサイロ、コーンプランター、ミニスーパーカー、ペールディストリビューター、サイララップ、ラウンドペーラー、ハイパワーローダー、プラウ、コンビラップ、トラック、牧柵、農業用GPS、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜家きん飼養施設	生乳生産合理化施設 (1)搾乳施設 (2)生乳冷却貯蔵施設 (3)生乳検査機械	パイプラインミルクカー、ミルクングパーラー、ロータリーパーラー、搾乳ロボット、自動搾乳システム、ユニット自動搬送システム、バルククーラー、プレートクーラー など 生乳成分分析装置、体細胞測定装置 など
	精液保管等施設	凍結保管器、液体窒素保管器、補給器、データ処理装置、無停電電源装置、輸送用車両(普通自動車、△軽自動車)、トラック など
	畜舎環境改善機械施設	清掃システム(ハンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、スラリーポンプ、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイルローダー、消毒装置、細霧装置、節電機、発電機、哺育機、通風装置、受電装置、牛床マット、給水器、発情検知システム、滅菌機、飼槽、乳頭拭拭装置、自動給餌機、高圧洗浄機、電動カウブラシ、牛群管理システム、スタンション、哺乳ロボット、パスチャライザー、カーフフィーダー、パレタイザー、牛舎柵、畜舎カーテン、削蹄機、除雪機、血液分析・超音波診断・X線診断等の家畜診療用機械、家畜診療用車両(普通自動車)、トラック、ダンプカー、フォークリフト、家畜診療用車両(軽自動車)、軽トラックなど
	中小家畜管理機械施設	清掃システム(ハンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイルローダー、消毒装置、細霧装置、通風装置、自動給餌機、計量器、豚舎柵、鶏舎ケージ、スノコ、カーテン巻上機、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜畜産物流通施設	家畜市場機械施設	電光セリ機、個票発行機、電光掲示盤、体重計計測装置 など
	食肉食鶏処理流通施設	冷凍機、冷却機、製氷機、クーラーユニット、自動オープナー、電気スタナー、ラップケーサ、マイクロバス、ダンボール印字機、ボイラー、スチールベルト、スーパーチャージベルト、コンテナ段積機、オートチェッカー、コンベヤー類、真空包装機、梱包機、洗浄機、電撃機、皮剥機、昇降機、自動洗浄背割機、ネックスリッター、掛替機、焼機ライン、自動製函機、肺取機、脱骨機、フライヤー、金属検出機、スキナー、テーブルリフト、チョップカッター、オゾン発生装置、ハムスライサー、ロボクープ、脱毛機、スパイラルフリーザー、計量器、小腸切開機、大腸切開洗浄機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車 など
	鶏卵処理流通施設	鶏卵選機、集卵機、汚卵洗浄機、割卵機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック など
特認借受者又は特認機械施設	上記以外の貸付対象者(借受者)又はリース機械についても、協会の理事長が特に必要として認めるときは、特認借受者又は特認機械施設として貸付けを受けることができます。これまで、特認借受者の適用事例として、畜産全国団体、検査分析機関、大規模酪農牧場、大規模養豚業者、牛乳流通改善協会、孵卵協議会、ふれあい牧場事業者等があり、特認機械施設の適用事例として、成分検査分析機器、牛乳プラント等があります。	

- 1 飼料生産利用施設で一定の基準を満たすものは、中古機械もリースの対象となります。
- 2 リース期間は、農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

詳しいことをご存知になりたい方は、(公社)千葉県畜産協会、最寄りの農業協同組合
又は(公財)畜産近代化リース協会までご連絡ください。

(公財) 畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899 FAX:03-3584-0758

(公社) 千葉県畜産協会 総務・企画部 担当: 武田

TEL:043-242-5417 FAX:043-238-1255

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 理事会報告

平成27年12月21日（月）ホテルプラザ菜の花5階「すいせんの間」に於いて、千葉県農林水産部畜産課島田主幹をお招きして役員等10名の出席を得て、第5回理事会が開催されました。主な協議事項は下記のとおりです。

（1）平成27年度事業進捗状況について

①平成27年度ちば農商工連携事業支援基金助成事業(団体公募事業)

公募ヒアリング（9/5）、事業事務説明（10/28）、役員への事業説明（11/5）

本事業は、中小企業者等と農林漁業者による連携体に対して、NPOより農商工連携事業に知見を有する専門家を派遣し、連携体のそれぞれの強みを再発見し、相互理解の促進による相乗効果を発揮し、社会環境に適応した事業計画の作成を支援する内容です。

現在、養豚関係2か所、酪農関係2か所で事業を推進しています。

②平成27年度死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託に係る業務委託事業(県公募事業)

本事業は、死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託に係る業務委託で8月～12月まで延べ97日間（NPO会員4名）で、計画どおり円滑に推進しています。

③畜産協会からの依頼により会員を派遣

（公社）千葉県畜産協会からの依頼により当NPO会員を派遣して畜産協会の各種事業への支援・協力に取り組んでいる状況報告がありました。

ア. 農場HACCP構築支援指導については、農場HACCP指導員（12名）を派遣して、県内25農場（酪農2戸、養豚21戸、採卵鶏2戸）で農場HACCP認証基準に基づく農場認証を目指している農場へ、指導・支援を延べ167回（6月～12月）実施したとの報告がありました。



また、農場HACCPの円滑な指導・推進方法として、今後は農場HACCPに取り組んでいる農場を含めた関係者による研究会の発足の必要性（来年度に向け）や農場HACCPの効果や流通の評価、消費者へのPRの必要性等意見交換がなされ、継続して検討していくこととなりました。

イ. エコフィードコーディネーター設置事業については当NPO会員をエコフィードコーディネーターとして検討会やエコフィードTMRセンター優良事例調査等に派遣して、県内のエコフィードの普及推進の向上に努めているとの報告がありました。

ウ. 野生獣衛生体制整備緊急対策事業では、イノシシ15頭、シカ15頭の採材・調査や地域衛生対策技術連絡委員として、当NPO会員を派遣して本事業の円滑な推進に努めている状況報告がありました。

（2）各部会の活動について

企画部会及び生産振興部会、調査研究部会は増収策の検討、6次産業化の推進協力、畜産研修会の企画等の活動を行い、現在第2回畜産研修会を企画・検討しています。衛生環境部会は上記の農場HACCP事業を中心として取り組んでいます。

また、高梨調査研究部長から千葉県農業会議からの依頼で、新規就農者講習会（畜産環境）を実施した旨の報告がありました。

（3）第2回畜産研修会についての検討結果

本年度の第2回畜産研修会について検討した結果、右記の2名の方を講師としてお招きして開催することとなりました。

2. 千葉県畜産フェアでの出店「畜産何でも相談」・「チーズ販売」及び

農場HACCPのパネル展示とアンケート調査の実施

平成27年10月24日（土）船橋競馬場で開催された千葉県畜産フェアでは、NPOは会員各位の協力を得て、昨年同様「畜産何でも相談」コーナーを、また、新たに農場HACCPパネル展示とアンケート調査を実施しました。

会場参加の畜産農家から6次産業化の推進についての経営相談や衛生対策等の相談があり、ちば農工商連携事業支援基金助成事業による専門家を派遣することとしました。また、一般の人からは県産肉の「放射能汚染」について相談があり、NPO相談員が丁寧に現状を説明し、安心をしてもらいました。



千葉県産のチーズを販売

チーズ販売では、フェルミエチーズネットワーク2会員のチーズのPR及び販売を手伝いました。

農場HACCPコーナーでは、パネル展示の説明、アンケートは65名から回答が得られ、消費者の「食の安全・安心」に対する意識調査を実施しました。

日ごろと違った意見交換や販売、消費者へのパネル展示アンケート等ができ、有意義な一日でした。

3. 平成27年度第2回畜産研修会の開催について（案内）

この度、第2回畜産研修会として「今後の畜産経営戦略」をテーマに下記のとおり開催します。大変お忙しい中恐縮ですが、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

◆日時：平成28年2月25日（木）13時30分から16時30分

◆場所：千葉市生涯学習センターメディアエッグ（千葉市中央区弁天町）

◆演題1：「（仮）TPPの発効を踏まえた畜産経営戦略」 講師：（公社）畜産技術協会会長 菱沼 毅 氏

◆演題2：「どうする千葉の酪農」 講師：NPO会員 山下 厚 氏

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（（公社）千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：81会員（内正会員個人68・団体11、賛助会員2団体）

平成27年度「農林水産就業相談会」開かれる



去る11月23日の勤労感謝の日に千葉市内のきぼーる（Qiball）にて、これから農業を始めたい、携わりたいという人のための相談会が開かれました。当日は48名が相談に訪れ、先輩新規就農者の体験談や各個別ブースでの就農相談などに臨みました。

畜産協会のブースには3名が訪れ、就農の動機を熱く語る一方、県内の畜産事情、就職事情に耳を傾けていました。

43才男性は、ホーククロップ生産の経験があり、牧草生産を生かしたところに就職したいとのこと。46才男性は、馬の牧場に興味があり、自然の中で働きたいとのこと。36才女性は、動物が好きで、動物病院で看護をしていたとのこと。どなたか、仕事を紹介してくださ～い。（事業部 奥住）

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1



チバザビーフ協議会報



チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。

◆東京食肉市場まつり2015の視察について (H27.10.24)

来年度、千葉県が協賛県として参加する「東京食肉市場まつり」の成功に向けて、千葉県実行委員会及び事務局会議のメンバーを中心に視察を行いました。

今年度は山形県が協賛県。山形県は平成24年度も協賛県となっています。

また、東京食肉市場センタービル9階で開催された「感謝の会」では千葉県実行委員会の副会長でもある千葉県農林水産部 飯田流通販売担当部長より次年度の協賛県として2016開催に向けた抱負を述べられました。



◆第5回チバザビーフ枝肉研究会の開催結果について (H27.11.11)

東京食肉市場(株)において、枝肉研究会が開催され以下のような結果となりました。

【出品頭数】	【入賞者】			
黒毛和種 23 頭	区分	最優秀賞	優秀賞	優良賞
交雑種 37 頭	和牛の部	(農法) 宮澤農産 (旭市)	江口幸太郎 (富里市)	牛玖雄一 (佐倉市)
計 60 頭	交雑の部	塙 正一 (銚子市)	越川竹晴 (匝瑳市)	石毛康裕 (銚子市)

◆第5回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭の開催について

肉牛の飼養技術向上を図る「枝肉共励会」及び牛肉流通の起点となる市場関係者やマスコミ関係者等を対象に「前夜祭」を下記のとおり開催いたします。

開催場所	日程
【前夜祭】 第一ホテル東京シーフォート 【共励会】 東京都中央卸売市場食肉市場 【褒賞授与式：東京食肉市場センタービル会議室】	月 日 行 事
	2月21日(日) 出品牛の搬入・受付
	2月22日(月) と畜、枝肉冷蔵保管 【前夜祭】
	2月23日(火) 枝肉審査・入賞牛発表 枝肉セリ販売 審査講評・褒賞授与

出品区分及び頭数			
黒毛和種の部 40 頭	交雑種の部 40 頭		
計 80 頭			

※出品申込の状況により、各部の頭数を変更する場合があります。

◆県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

☆4人の料理長による至高の晚餐2015



日時：平成27年10月11日

場所：京成ホテルミラマレ

主催：(有) タカーズカンパニー

後援：千葉県

協賛：JA全農ちば、(株)OMI (卵の花牛)、(株)千葉県食肉公社 (マーガレットポーク)、旭食肉協同組合 (いもぶた)、JAかとり東庄経済センター (東の匠SPF豚)

千葉のホテルの4名の料理長がコラボしてチバザビーフとチバザポークを使って調理したフルコースディナーです。

牛肉のメイン料理に『卵の花牛』が使われています。2種類の調理方法で、季節の野菜を添えて提供されました。



☆第9回千葉県畜産フェア

日時：平成27年10月24日

場所：船橋競馬場

主催：公益社団法人千葉県畜産協会、千葉県畜産物消費拡大推進協議会、千葉県畜産フェア実行委員会

後援：千葉県、船橋市



チバザビーフからの出展団体：「しあわせ牛」（千葉県食肉公社）、
「若潮牛」（JAちばみどり）、「八千代牛」（千葉北部酪農農業協同組合）、
「卵の花牛」（全国畜産農業協同組合連合会、㈱OMI）

チバザビーフからは4団体が出展し、焼肉の試食販売等を行いました。
また、同時開催された第5回ダートランニングフェスタにおいて、29位特別賞（肉賞）の副賞として県産牛肉1kgを提供いたしました。

☆チバテレ秋の“3きゅー”3chキャンペーン

日時：平成27年11月3日～23日

チバテレビの企画による視聴者プレゼントキャンペーンが行われ、チバザビーフ協議会では千葉県産牛肉のPRのため1万円分相当の県産銘柄牛肉5名分をチバテレビに提供いたしました。

キャンペーンは、テレビのスポットCMやホームページ、新聞等で告知され、視聴者プレゼントへの応募は全体で約2,500件にものぼり、そのうちチバザビーフへの応募は約500件もあったそうです。

厳正な抽選の結果、当選者には年末に賞品が進呈されました。

☆かずさ和牛直売会

日時：平成27年11月21日

場所：千葉県家畜市場「かずさ和牛直売所」

主催：千葉県家畜商協同組合、かずさ和牛研究会

直売会は、天候に恵まれたこともあり販売開始時間9時30分（整理券配布は9時）のところで8時には行列ができるほどお客が集まりました。試食にはモモカタスライスと切り落としをミックスして提供。販売は1人の購入数量を制限していましたが、すぐに売り切れの部位が出始め、販売開始から2時間足らずで完売いたしました。



☆「ちば未来夢弁当」発売

1,200円 豚焼、カルビ、鶏肉、など様々なイベント!

- 1 和牛ハンバーグ弁当 (和牛100%ハンバーグ)
- 2 カルビ焼肉弁当 (チバザビーフ)
- 3 ロース焼肉弁当 (チバザビーフ)
- 4 牛肉&豚肉弁当 (チバザビーフ・チバザポーク)
- 5 豚焼肉弁当 (チバザポーク)

1,800円

- 6 特上カルビ焼肉弁当 (チバザビーフ)
- 7 和牛ハンバーグ&カルビ焼肉弁当 (チバザビーフ)
- 8 和牛ハンバーグ&ロース焼肉弁当 (チバザビーフ)

2,500円

- 9 サーロインすきやき弁当 (チバザビーフ)
- 10 特上ロース弁当 (チバザビーフ)

販売元：ちば未来夢

製造元：七輪焼肉 超力

NPO法人ちば未来夢は、千葉県の未来に夢を抱き、全国へ千葉県の魅力を情報発信している団体です。

このたび、チバザビーフをはじめ千葉県産の食材が詰まったお弁当が発売される運びとなりましたので、下記のとおりご案内いたします。

【お弁当に関するお問い合わせ先】

◆ちば未来夢（七輪焼肉 超力）

TEL：043-224-8929 090-5391-0909

FAX：043-306-3989 メール：1108@s-fs.com

住所：千葉市中央区富士見2-17-6

受付：10：00～14：00／16：00～21：00

営業日：平日（土日祝祭日 休み）

事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 総務・企画部 企画課（担当：小倉）

TEL:043-242-6333 FAX:043-238-1255

2015年（第9回）千葉県畜産フェア開催

平成27年10月24日（土）、船橋競馬場ふれあい広場に於いて第9回千葉県畜産フェアが千葉県・船橋市の後援、関係団体、出展団体等の協力、また、多数の団体より協賛をいただき盛大に開催することができました。

昨年度に引続き広大な会場を緑日の屋台をイメージして通路を狭目にテントを設置して行いました。

森会長、岡田千葉県畜産課長が出席され、出展者の方に激励の挨拶をいただきました。



天候にも恵まれ、大勢の県民や関東近郊の方々が訪れ、骨密度測定、ミルクくずもち、焼肉試食販売等を行い、豪華な景品（牛肉・豚肉等）が当たる大抽選会は大いに盛り上がりました。

今回、新規に出展された団体も昼過ぎには完売してしまうなど、大変盛況だったことが伺えました。

また、同時開催された第5回ダートフェスタにも多くの参加者が集まり、ダートレース体験[1200m]（6R・2OR1位）、21kmダート駅伝（11位、22位、29位、33位、44位、55位、66位、77位、男子1位、男女混成1位）に副賞として県産銘柄豚肉及び牛肉計12点を提供しました。



今後多くの集客のため同時開催されている団体と連携し、来場者に千葉県産畜産物の消費拡大の推進や安全・安心等のPRを行える場になるよう進めたいと思います。（総務課 武田）



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第18号

モ～モ～フ～フ～コケッコ～

千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

◆ 第9回千葉県畜産フェアへの参加

平成27年10月24日（土）に開催されました千葉県畜産フェアに参加し、「ミルクくずもち」を無料配布いたしました。その場で会員の皆さんが手作りしたミルクくずもちは、お客様に大好評で、人だかりができました。



また、牛乳を使っていることと、作り方がとても簡単ということで、「家でも作ってみたい!」という声が多く、たくさんのお客様がレシピの紙をお持ち帰りになられました。お客様（消費者）と会員（生産者）の交流も盛り上がりおりました。

◎簡単!おいしい!ミルクくずもちの作り方 (約4人分)

- ① 鍋に牛乳(2カップ)・砂糖(大さじ3)・片栗粉(1/2カップ)を入れ、よくかき混ぜる
- ② 火にかけ、焦がさないようによく練り上げる
- ③ バットを水でぬらし、②を流して平らに落ち着かせる
- ④ きな粉(60g)・砂糖(60g)・塩(少々)を合わせる
- ⑤ ③がある程度固まったら、食べやすい大きさに切り、④をかけて盛り付ける



冷やして食べてもおいしいよ☆

活動予定

◆ 視察研修会

日程：平成28年2月23日（火）

場所：佛母寺・ひふみ養蜂園・道の駅保田小学校

皆様の参加を心よりお待ちしております。（事務局 長嶋）



肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会会長 山崎 巖

第10次肉用牛損害賠償請求をもって肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終了し、第11次から第17次請求まで検査費用の請求を行ってきました。

第18次以降の請求については、検体代と検査料を合わせて請求する内容（様式：A票）となっておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、前回の第34号でお知らせしたとおり、放射性物質検査における検体採取重量分の枝肉が賠償の対象となり、遡り分の検体代（第1回）が平成27年12月28日（月）、検体代（第2回）が平成28年3月31日（木）に提出となっておりますので、窓口団体の指示に従って書類の作成・提出をお願いいたします。

また、平成27年11月30日付けで第18次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします。

区分	請求対象期間	請求金額	請求者数	請求日	
請求中	第17次	平成27年4月～6月	7,447千円	68名(164名)	平成27年9月3日
	第18次	平成27年7月～9月	11,660千円	75名(164名)	平成27年11月30日

◇ 支援団体 ◇

千葉県畜産協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、千葉県配合飼料価格安定基金協会[千葉県全日本畜産経営者協会]、一般社団法人千葉県農業協会（肉用牛部会）、株式会社千葉県食肉公社、横芝光町（東陽食肉センター）、県南畜産処理事業協同組合（南総食肉センター）

◇ 事務局 ◇

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会(公益社団法人 千葉県畜産協会 内)
担当:武田、鈴木 TEL:043(242)5417 FAX:043(238)1255

平成27年度千葉県肉豚共進会

～香取市の宇野重光氏が農林水産大臣賞を受賞！～

平成27年度千葉県肉豚共進会は10月6日（火）～8日（木）旭市の千葉県食肉公社を会場として今年度から2類8頭組を無くし、2頭1組のみで開催いたしました。

全体の成績としては、90組180頭の出品があり、上物頭数120頭、上物率66.7%、平均枝肉重量76.5kgという結果であり、その中から比較審査を行い、香取市の宇野重光氏が名誉賞を受賞いたしました。

名誉賞に輝いた宇野氏の出品豚は、雌は極上にランクされた枝肉で、雌・去勢とも全体のバランスと肋の深さ、モモ張りが良く、カタの充実もあり肉量を感じる枝肉でした。カット面を見てもロース芯は大きく、全体の脂肪の付着、肉色も適度で、肉質にすぐれていることから農林水産大臣賞を受賞されました。（生産課 金杉）



名誉賞 受賞豚
香取市 宇野 重光 氏

受賞者一覧

賞	出品 No.	市町村	氏名	賞	出品 No.	市町村	氏名
名誉賞	44	香取市	宇野 重光	優等賞 6 席	19	東庄町	高木 敏行
優等賞 1 席	51	旭市	石毛 光宏	優等賞 7 席	42	香取市	成毛 勇作
優等賞 2 席	78	旭市	平野 健治	優等賞 8 席	4	富里市	堀江 和広
優等賞 3 席	33	東庄町	高橋 秀樹	優等賞 9 席	73	旭市	柴 しづい
優等賞 4 席	48	旭市	寺嶋 英夫	優等賞 10 席	59	旭市	岩崎 裕一
優等賞 5 席	31	東庄町	江波戸敏雄				

◎平成27年度 養豚経営安定対策事業

（単位：円／頭）

養豚経営の収益性が悪化した場合に、粗収益と生産コストの差額の8割を補填することにより、養豚経営の安定を図る事業です。

	平均粗収益	生産コスト	差額	補てん単価
第1四半期	39,992	35,196	4,796	補填なし
第1～2四半期	40,615	35,039	5,576	補填なし



N P C 通 信



1 堀江光洋氏黄綬褒章受章『祝賀会』最大に開催(2015. 9. 25)

春の褒章受章者として農業・畜産業での業務精励の功績として、公益社団法人千葉県畜産協会副会長、ナイスポークチバ推進協議会顧問である富里市：堀江 光洋氏（73歳）の黄綬褒章を祝う会が成田ビューホテルにおいて開催され、国会議員、生産者関係者174名が受章を祝った。

来賓の祝辞、受賞者謝辞、鏡割り、乾杯後の余興として、神田明神将門太鼓『富里ひすめ太鼓』が披露されその勇壮な響きで会は大いに盛り上がり、堀江氏の受章を祝った。



2 畜産フェア2015出展(2015. 10. 24)



「千葉の畜産を・食べよう・話そう・知ろう」のキャッチコピーを掲げ、恒例となった第9回千葉県畜産フェアに今年も協賛参加した。今回も千葉県の養豚・豚肉についてアンケート及びクイズを通じて消費者と意見交換を図った。



- ◆アンケート結果《男性：88名・女性111名》
- 千葉県が養豚県であることの認知度《男性:59%・女性：46%》
- エコフィードについての認知度《男性：13%・女性：9%》
- 水田活用として飼料米生産に関する国の政策の必要性は
《男性76%・女性：79%必要と回答》
- 輸入豚肉を購入したことがありますか《男性：72%・女性74%購入と回答》

3 第28回養豚振興プロジェクト委員会開催

TPP合意で養豚の危機…どう対策を(2015. 10. 30)

第28回を数える養豚振興プロジェクト委員会は、TPP大筋合意により、今後生産者にとって大変厳しい状況となることは必至であり、生産者自身の経営努力と国に対する要請が重要であることから「TPP合意で養豚の危機…どう対策を」とのテーマで千葉市内プラザ菜の花会議室において次のテーマで意見を交わし今後の進めるべき事柄について協議した。



- (1) AD清浄化と生産確保のための衛生対策
- (2) と畜場再編について
- (3) TPP合意に対する内容と要請

米国と日本の価格差100円は厳しい。飼料費2万円でないに対応できない。生産コストを下げる努力は必要であるが50円が限度か(生産者)。

4 第39回千葉市民産業まつりに出店参加(2015. 11. 8)

千葉ポートタワー周辺緑地において39回目となる千葉市民産業まつりが開催され、ナイスポークチバ推進協議会は千葉の養豚・豚肉をPRするべく出展参加した。このイベントは、千葉県及び千葉市の豊かな食・特産品、文化などのPRや多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値の向上、地産地消の推進、地域産業の振興、集客交流を図ることを目的としている。

終日小雨が降り続く中での参加となったが、焼肉を70kg、またアンケートクイズに答えて豚肉(ロースブロック1kg)50本をプレゼントなど県産豚肉のPRを実施した。

例年各地でイベントが開催される時期であることから協力スタッフは少ないものの、手慣れた協力者に助けられ順調に終了できた。アンケートの内容は昨年同様の内容に加え、TPP大筋合意を踏まえ、輸入豚肉の購買に関する設問を加えた。



また、将来子供たちに国産豚肉のファンになってもらわなければならないことから、子供達へのクイズを作り、抽選でぬいぐるみが当たる新企画も取り入れ、多くの来場者で混雑した。



◆アンケート結果《男性：102名・女性156名》

○千葉県が養豚県であることの認知度

《男性:44%・女性：46%》

○エコフィードについての認知度《男性：14%・女性：7%》

○水田活用として飼料米生産に関する国の政策の必要性は《男性89%・女性：80%必要と回答》

○輸入豚肉を購入したことがありますか《男性：84%・女性77%購入と回答》



5 ホドソン博士チャレンジ2015 (2015. 11. 14)



昨年、PED（豚流行性下痢）の影響から開催を控えた米国SGI社の最高顧問であるハロルド・ホドソン博士を招き、セミナーを開催した。

今回、SGI社 社長ニック・ベリー博士もホドソン博士と同行され来日していたことから、例年のように帰国前の限られた時間に講演をお願いした。

今回の依頼も（株）ナスアグリサービス平野寛身氏の配慮を得て開催となった。

ニック・ベリー氏は2007年アイオワ州立大学で動物科学を専攻、研究テーマは動物福祉と遺伝。

ハロルド・ホドソン博士から（1）最新の人工授精、（2）効率的な生産のために生存産子数に限度はあるかと題し講演。深部注入（人工授精技術）は経産豚で3産～5産に使用することが好ましく、受精は給餌時に行い、注意すべきことは雄豚を近づけないことが重要と話された。

ニック・ベリー博士から（3）米国と世界の食肉市場、（4）PED豚流行性下痢について講演され、疾病問題ではバイオセキュリティの重要性を話された。



6 JPPA俺たちの豚肉を食べてくれ2015 (2015. 11. 14~15)



東京日比谷公園にれの木広場にて、JPPAのイベントが開催された。今回は『農業と子どもの元気が日本を元気にする』をテーマに第6回ファーマーズ&キッズフェスタ2015のコーナーに出展した。

ファーマーズ&キッズフェスタは、日本全国のプロ農業者が集い「子どもと農業をつなぐ架け橋」として都会の子供たちに元気なニッポン農業を発信するイベント。こだわりの新鮮な農産物を東京のど真ん中にお届けするとともに、楽しいステージ

や食育・農育ワークショップ、大型農業機械の試乗や畑を耕す体験、動物との触れ合いなどさまざまな形で農業の魅力と楽しさを紹介している。

一般社団法人日本養豚協会（JPPA）主催による「俺たちの豚肉を食べてくれ2015」は日頃味わえない全国の豚肉（銘柄）が、しゃぶしゃぶ、焼肉で味わえるとあって例年このイベントを楽しみにしている消費者も多いと聞いている。



俺豚では恒例となった45cmの特大フランスパンを使用した「ホットドッグ早食い競争」では歴代優勝経験者も参加するレベルの高い戦いとなった。

(→次頁に続く)

「ブタの鳴き声ものまね長さ大会」では、「国産豚肉大好き！！」との合言葉を叫んでからスタート。子供たちの可愛い鳴き声が会場に響いた。

将来、国産豚肉の応援団となってくれることを大いに期待したい。



7 活動報告会 2015 盛大に開催 (2015. 12. 7)

恒例の活動報告会は平成27年12月7日(月)千葉市内の京成ホテルミラマーレにおいて開催された。

午後3時より、消費者を意識した特別講演を開催。講師に東京医科歯科大学名誉教授である藤田紘一郎先生をお招きした。講演には166名が参加。先生には「腸を鍛える食習慣」と題し講演いただいた。参加者は、日々健康に生活するために必要な興味深い話に真剣に聞き入っていた。

午後5時30分開会の活動報告会は、塩澤会長から活動に対する指導・支援・ご協力の御礼の挨拶、来賓として白須賀貴樹衆議院議員、本間県会議長、石毛県会議員、小倉農林水産部長、志澤JPPA会長からそれぞれお祝いと激励の挨拶を頂き、活動報告、伊藤県議会議員の乾杯の発声により懇談に入った。今回消費者であるサポーター会員との意見交換会に時間を割き、交流を図った。

締め際に飯田副会長から決議文を読み上げ活動の指針を示した。



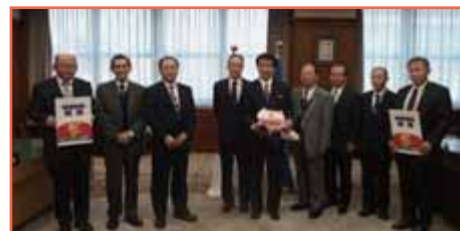
1. 養豚経営安定対策制度(豚マルキン)の内容充実と法制化を強く求め活動します。
2. 輸入豚肉加工品の原産地表示により消費者の選択肢を広げる法制化を強く求め活動します。
3. 国産豚肉の良さと、養豚の役割を広く国民に伝えるためチェックオフ制度の法制化を強く求め活動します。

8 2016年知事への年頭あいさつ (2016. 1. 5)

平成28年1月5日(火)森田健作知事を訪問。

塩澤会長、岩岡会長代理、藤崎・松ヶ谷・石毛副会長、堀江・島田顧問、事務局の8名が参加し新年の挨拶を述べた。知事から「日頃本県の豚肉生産と消費拡大への活動に感謝する」旨の挨拶を頂きました。2016年も養豚生産者を忘れぬよう「豚のぬいぐるみ」を持参し、ナイスボークの存在を残してまいりました。

そのほか、県庁舎は農林部長室、政策課、団体指導課流通販売課、生産振興課、担い手支援課、健康福祉部衛生指導課、自民党県議会畜産振興議員連盟事務局である自民党千葉支部連合会、また資金活用で生産者との繋がりが深い政策金融公庫を回り、挨拶及び情報交換を図った。



畜産課では、平野前会長(現顧問)も加わりTPP対策として畜産農家が利用するクラスター事業についての最新情報、また政策金融公庫では、豚肉の輸出に向けた取り組みと公庫資金の活用について、生産現場の現状を踏まえ意見を交わした。

事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部 (担当:加藤)
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

肉用牛繁殖経営支援事業に係る発動基準が平成28年度より改定されますので、ご案内いたします。

また、指定肉用子牛の平均売買価格が高いため、肉用子牛生産者補給金及び繁殖経営支援交付金について発動のない状況が続いておりますが、肉用子牛個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。（生産課 飯沼）

◆肉用牛繁殖経営支援事業の交付金発動基準

（単価：円/頭）

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準価格	27年度	420,000	380,000	280,000
	28年度	450,000	410,000	290,000

肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業

肉用牛肥育経営安定特別対策事業においては補填金の毎月払いが継続して実施されております。引き続き販売報告の漏れがないようお願いいたします。（企画課 小倉）

※政府が公表する総合的なTPP関連政策大綱の中で、新マルキン事業が牛マルキンとして表現されていることから、新マルキン事業に代えて牛マルキンという表現を使用することとなりました。

◆肥育牛補填金単価について【平成27年7～9月期】

【7月】

（単価：円/頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,113,333	731,604	450,427
生産コスト (B)	1,012,895	754,733	451,088
差額 (C) = (A) - (B)	100,438	△23,129	△661
補填金単価 (D) = (C) × 0.8	-	18,500	-

※100円未満切り捨て

【8月】

（単価：円/頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,099,868	739,690	452,463
生産コスト (B)	1,028,699	739,843	448,093
差額 (C) = (A) - (B)	71,169	△153	4,370
補填金単価 (D) = (C) × 0.8	-	-	-

※100円未満切り捨て

【9月】

（単価：円/頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,121,952	731,496	454,363
生産コスト (B)	1,012,553	734,474	451,458
差額 (C) = (A) - (B)	109,399	△2,978	2,905
補填金単価 (D) = (C) × 0.8	-	2,300	-

※100円未満切り捨て

繁殖雌牛や種雄牛は対象となりませんのでご注意ください!!!

Q. 繁殖雌牛や種雄牛を申し込んだ場合はどうすればいいの？

速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。

繁殖に仕向けたことの報告がなく、繁殖に仕向けたことが確認された場合、補てん金交付契約を解除する場合があります。補てん金交付契約を解除した場合、すでに納付された生産者積立金の返金がないことに加え、業務対象年間終了後の基金の残額の返還もありません。

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

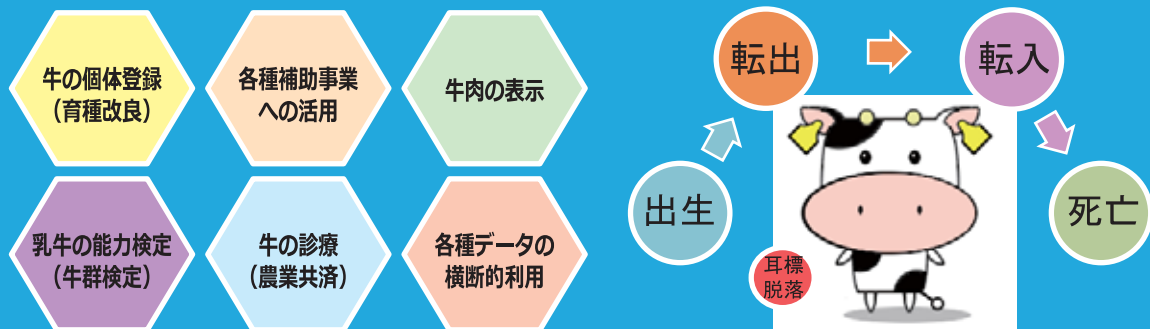
牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

- ◇牛の管理者には、牛トレサ法に基づく**耳標の装着及び各種届出**が義務付けられています。
- ◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレサ法に基づく**罰則の対象**となります。
- ◇さらに、**各種補助金の対象から除外**されたり、**返還を求められる**場合もあります。



(独) 家畜改良センター

牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは・・・
 農林水産省関東農政局安全管理課 TEL : 048-600-0600 (内線 ; 3219)
 もしくは
 関東農政局千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL : 043-224-5611

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。
 地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

問い合わせ先：審査部登録課 TEL : 03-3583-2142 URL (<http://www.keiba.go.jp/>)

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	
Eメール : info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	